



衆議院議員
 ごとう祐一通信 Vol.35

今こそ地道に 政策を

日本カナダ議員連盟の事務局次長として、1月にバンクーバーで日カナダEPA（経済連携協定）を議論。2月には両国間で共同研究が開始されました。

政局が揺れている時こそ、地道に政策を一つ一つ進めていきます。二月二十五日の衆議院予算委員会第八分科会（国土交通省関連）において地域生活に密着した三つの質問を行いましたので紹介します。

容積率アップで中心街活性化を

（後藤）景気が厳しい中で駅前中心街の活性化を図るため、容積率を無制限に上げてよい「都市再生緊急整備地域」（全国で六五ヶ所。本厚木駅周辺が既に地域指定されている）が取組みはあまり進んでいない。はそれほど税金を使わない有効な政策。例えば、一階と二階にしゃれた店に入って頂き三階以上は高層マンションとして販売するといった開発が可能となる。今般、この地域指定の見直しをするとのことだが、活性化の望みが消えかねない指定取消しやエリア縮小はほしくないようお願いしたい。

（国土交通政務官）取組みが進んでいないことだけを理由として指定取消し、エリア縮小をすることは考えていない。地方公共団体と丁寧に意見交換し、その意向を踏まえて検討していく。

（後藤）中心街活性化がうまくいった事例とその原因分析など国には知見集積がある。うまくいっていない地域の後押しをお願いしたい。



トラック行き交う国道20号（藤野）が狭くなった場所に歩道を設置するよう国土交通省と交渉

「サービスピス付き高齢者住宅」は安い住宅も可能に

（後藤）「特別養護老人ホームは数百人待ち、民間老人ホームは数百万円で高すぎる、その間の住まいはないのか」というのがお年寄りの介護に悩む多くの方の共通した声である。正にこのすき間に当たる「サービスピス付き高齢者住宅」を増やす「高齢者の居住の安定確保法」がこの国会に提出されるが、大変意義深い法律。ただし、現在国土交通省は例えば「部屋の広さは二五平米以上」といった最低基準を設けることを検討中だが、これだとサービスピス込みで月額八〜十万円ぐらいの値段になってしまい、月六万六千円以下しかもらっていない国民年金の方には高すぎてしまう。（裏面につづく）

4月の統一地方選挙に、民主党（神奈川16区）は次の方々を公認しました。

神奈川県議会議員選挙 市議会議員選挙



すすき裕二 さとう知一 中村たけと 中村ともなり 小山博正 安藤玄一

(表面から続く)

「高品質だけど高い住宅」から「それなりの品質で安い住宅」まで多様な高齢者住宅ができることが大事。国の基準は高くしすぎず、あくまで参考にとどめ、地方自治体が地域の実情に応じて基準を決められるようにすべきと考えるがどうか。

(国土交通政務官) 幅広い方々向けに幅広いタイプを用意するため、地方自治体が地域の実情に応じて面積基準を柔軟に設定できるようにする。また、余っている公営住宅を活用できるようにしたり、自治体が支援する形で家賃減額をできるようにしたりといった対応を行う。

政令市の線引き凍結に向けた制度改正を検討指示

(後藤) 中山間地では線引き(市街化区域と市街化調整区域を分けること)は通常行われていないが、旧藤野・相模湖・津久井町のように合併して政令指定都市になった地域では法令で線引きが義務付けられるため、このままでは都市計画税・固定資産税が上がつてしまい、年金生活の方々などは本当に困っている。人口も五年間で5%ほど減っている地域で集積が急速に進むとはとても思えない。吸収合併された市町村においては線引きをしなくともよいとの特例を設ける制度改正をすべきではないか。

(大島国土交通大臣) 現行制度は合併して人工的に政令市になることを念頭に置いてなかったのかもしれない。制度改正を含めて事務方に地域の実情をよく把握して分析するよう指示をしたい。

ウェブで質疑が見られます

<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>

二月二十五日↓予算委員会第八分科会↓後藤祐一をクリック

新春のつどいを5ヶ所で開催。満員御礼！



厚木

約500名

1月12日(水)ロワジュールホテル厚木



相模原市緑区

馬淵澄夫前国交大臣

約200名

1月28日(金)藤野芸術の家

「国政勉強会～線引きについて語る」



愛甲郡

約150名

2月5日(土)愛川町文化会館



相模原市南区

約300名

2月13日(日)ラクアルオダサガ



2月20日(日)JA伊勢原本所



伊勢原

約200名

